

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は915名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.49 Kくん (平成27年3月卒・機関専攻・現19歳) 遠洋カツオ一本釣り漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 機関当直を行う。(夜は2時間、昼は3時間で、どちらか1日1回行う)
- * 前日に釣ったカツオなどの冷凍処理(魚越し)を行う。

Q. 大変なことは？

- * 遠洋カツオ一本釣り漁船は、餌用のイワシやブライン液などの配管やバルブなどが多くあり、それを全て覚えて使わなくてはならない。
- * 船が古いので配管、ポンプ、主機などの部品がよく壊れ、それを修理するため夜寝ている時にも起こされる。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * カツオを釣っている時は楽しい。
- * 冬の時期は、日の出ている時間が短く、1日の中で休み時間が長くなる。

Q. 学園在学中の思い出は？

- ・ カッター訓練や色々な免許を取得しに行ったこと。

Q. 学園で学んだ(身に付けた)ことで、現場で役立っていることは？

- * ロープワークが役立っている。
- * 道具の種類を覚えていたこと。

☆. 在校生へのアドバイス

- * 仕事を言われる前に自分で判断して動けること。
- * 周りをしっかり見て仕事をすぐに覚えること。

(平成31年1月7日)